

2010 年度大学入試センター試験 解説 <英語(筆記)>

第1問

A

【解説】

問1 正解 ④

下線部の発音は④が [u]，その他はすべて [u:] である。

問2 正解 ④

下線部の発音は④が [ð]，その他はすべて [θ] である。

問3 正解 ②

下線部の発音は②が [ɑ:r]，その他はすべて [ɔ:r] である。

問4 正解 ③

下線部の発音は③が [z]，その他はすべて [ʒ] である。

B

【解説】

問1 正解 ②

damage は第1音節に第一アクセントがあり，②の effort と一致する。他はいずれも第2音節を最も強く読む。

問2 正解 ①

recommend は第3音節に第一アクセントがあり，①の guarantee と一致する。museum と objective は第2音節，satisfy は第1音節を最も強く読む。

問3 正解 ②

fortunately は第1音節に第一アクセントがあり，②の elevator と一致する。manufacture と sympathetic は第3音節，appreciate は第2音節を最も強く読む。

第2問

A

【解説】

問1 正解 ④

「英語の課題は提出しましたか」「いいえ，でも半分は終わっています」

be through ～で「(仕事など)を終える」の意味になるので，④の through が正解。

問2 正解 ③

「定期券の期限が明日で切れるので，それを更新しなければならない」

「(切符・契約などが) 期限が切れて無効になる」を意味する③の *expires* が正解。

問3 正解 ④

「今日の会議を次の水曜日まで延期することは可能ですか」

「～まで」と(会議が開かれていないという状態の) 継続の終了を表す④の *until* が正解。

問4 正解 ③

「私は、姉[妹]に大型車を買わないように説得された」

<talk+人+out of ~ing>で「人を説得して～することをやめさせる」の意味になる。よって③の *out of* が正解。

問5 正解 ④

「先月ハンナと別れなかったら、私は彼女と2年間の付き合いになっていただろう」

If 節内の *hadn't broken* (仮定法過去完了) に合わせた④の *would have been* が正解。

問6 正解 ④

「救助センターにいた子犬は、その小さな女の子に選んでもらって嬉しそうだった」

直前の *have been* (*be* の完了形) と *by* に挟まれているので、受動態を作る過去分詞である④の *chosen* が正解。

問7 正解 ④

「ジャックはなぜ仕事を辞めたのですか」 「彼は、自分のカフェを開店するという夢を実現したかったのです」

「(夢などを) 実現する」の意味を表す他動詞である④の *realize* が正解。

問8 正解 ③

「私の学校では、正規の先生が不在のときは、別の先生が代わりに授業をします」

文脈から「正規の、常任の」を意味する③の *regular* が正解。

問9 正解 ①

「私のコンピュータ画面の明るさを調整するのに手順の全てを踏むのは、本当に面倒なのです」 「では、簡単なやり方にしてはどうですか。このキーを押すだけです。それが手っ取り早い方法です」

文脈から「近道」を意味する①の *shortcut* が正解。

問10 正解 ①

「多年にわたる戦争の後、その国はかなりの国力を失った。たとえそうだとすると、その影響力は過小評価すべきではない」

文脈から逆接を表す①または②に絞る。①は副詞句、②は副詞節を作るが、ここでは空所の後に節を作るための後続語句がないので、①の *Even so* が正解。

B

【解説】

問1 正解 ②

ユウコ： 私の誕生日に主人が買ってくれたものは、あなたには絶対言い当てられないわよ。

ベサニー：何だったの？

ユウコ：去年とまったく同じものだったのよ。

ベサニー： **18**

- ① それは、あなたには手痛い出費だったにちがいないわね。
- ② でも、いいじゃない。とにかく彼はあなたの誕生日を覚えてくれていたのよ。
- ③ 考え直して、私はそれを受けとらないことにしたの。
- ④ まあ、あなたは決して予算内に収めることはできないでしょうね。

前年と同じ誕生日プレゼントを夫から贈られたユウコに対する慰めの言葉となる②が適当。

問2 **19** 正解 ③

チャン氏：コシノさんは、明後日この部署を離れることになります。

オオタ氏：本当ですか？ ちょっと突然ですね。どうしてですか？

チャン氏：まあ、**19** 彼は警備主任になるのだと聞きました。

オオタ氏：わかりました。口には封をしておきます。

- ① 彼はお世辞を言っているだけです。
- ② 私に何ができるか考えてみます。
- ③ ここだけの話ですが、
- ④ 急がば回れと言いますが、

最後のオオタ氏の「口には封をしておきます」という言葉から、前のチャン氏の伝聞内容は秘密にしておきたいことが察知できるので、③が適当。

問3 **20** 正解 ①

理科の先生：いいですか、皆さん、目の前にガラスのビーカーが2つあります。1つには油が一杯で、1つには水が半分入っています。さて、ゆっくりと油を少し水のビーカーに注ぎます。どうなるでしょうか？

生徒：えーと、**20** ことが見てとれます。

理科の先生：そう、その通りです。水と油は分離するのです。

- ① 油は水と混ざらない
- ② 油は水と言い争う
- ③ 水は油に変わった
- ④ 水は油に強く引かれる

最後に教師が「それら（水と油）は分離する」と述べ、空所における生徒の言葉を肯定しているので、①が正解。

C

【解説】

問1 **21**・**22** 正解 ②・⑥ (4)②⑤①⑥③

「あなたが電子メールで書いたことが、友人を怒らせました。何が彼女を怒らせたのかを尋ねる際は、『どうしてあなたが私のメールで腹を立てたのか、私に教えてくれませんか』と言います」

完成した英文は、(Could you) tell me what made you so upset (with my email?)となる。ポイントは、<tell +人+疑問詞節>の第4文型と無生物主語の what に続く<make+人+形容詞>の第5文型である。

問2 ・ 正解 ②・① (4②③⑥①⑤)

「あなたは昨日友人から昼食代に 800 円借りました。お金を返すとき、あなたは『これは、昨日の昼食に私が君に借金した 800 円です』と言うでしょう」

完成した英文は、(This is) the 800 yen I owe you for yesterday's (lunch.)となる。ポイントは、④に関係詞節(ただし目的格の関係代名詞は省略)が続くこと、及び<owe+人+お金+for ~ (人に~の件で…の借金を負う)>の文型である。

問3 ・ 正解 ②・⑤ (4②⑥①⑤⑦③)

「あなたは休暇にどこへ行くか、いつ決めたのですか? はっきりしないのだと思っていました」「昨日決めたのです」

完成した英文は、“When did you decide where you're going (for your vacation? I thought you weren't sure.” “I decided yesterday.”)となる。ポイントは、<decide+疑問詞節>の文型と相手が最後に yesterday と答えていることから文頭に疑問詞 when を置いた疑問文を組み立てることである。

第3問

A

問1 正解 ③

【解説】

この対話では、makeshift は…を意味する。

- ① 立派にこしらえた
- ② 今のところ利用できない
- ③ ずっと使うためではない
- ④ とても高価な

アリスの言葉から、欲しい本棚が買えないでいる間に使う本棚を自前で作ったという文脈を把握すれば、正解は③の「ずっと使うためではない」と推測できる。makeshift は、文字通りには「一時しのぎの、間に合わせの」を意味する形容詞である。

【全文訳】

ボブ：わあ、君はとてもたくさん本を持っているね。きっと本当の読書好きなんだろうね。

アリス：ええ、実は本棚が必要なんだけど、まだ欲しいのを買う余裕がないの。その間、木とレンガで一時しのぎの本棚を作ったの。サイズは足りないし、あまり見栄えもしなければ、安定してもいないけど…。

問2 正解 ③

【解説】

この文章で、have a penchant for の意味は…である。

- ① ~に注意深い

- ② ～に疑い深い
- ③ ～を好んでいる
- ④ ～を誇りに思う

文脈から、フェレット夫人は年代物のジーンズの愛好家であることがわかるから、正解は③になる。a penchant for は「～に対する特別な好み (a special liking for)」を表す (指向性を表す for にも注意)。これに対し、④と判断するには、この文脈は情報不足と言える。

【全文訳】

むこうに、フェレット夫人がいつものように年代物のジーンズをはいています。彼女は私が知る誰よりも年代物のジーンズをたくさん持っています。彼女に会うたびに、違うジーンズをはいているんですよ。年代物のジーンズが本当に大好きなようです。

B

【解説】

29 正解 ③

- ① 医師や看護師は、専門用語を多く使いすぎることがしばしばある
- ② 高齢者には、医師と話すとき心地よく思う人が多い
- ③ 医療の専門家たちも、高齢者には違う話し方をする
- ④ 人々の中には、気持ちを伝えると必ず子供のような話し方になる人もいる

ジョンソン氏は、発言の中で、一般人だけでなく医療関係者が高齢者を子供扱いした話し方をするを指摘し、これに疑念を呈している。したがって、③が正解。

30 正解 ③

- ① 年齢は、話し方とは無関係である
- ② もっと知的な言葉が使われるべきだ
- ③ 高齢者には特別な注意が払われるべきだ
- ④ 高齢者はもっとゆっくり、はっきりと話すべきだ

医者マクドナルド博士は、患者と同様に高齢者に対しても思いやりが大切なことを、発言の第1文と最終文で繰り返し強調している。よって③が正解。

31 正解 ④

- ① 私たちの行動を決定することはない
- ② 彼らの感情を傷つけない
- ③ 彼らの外見と動作に基づくべきだ
- ④ 注意深い思いやりを伴わずに下されるべきではない

ウェスト女史はマクドナルド博士に反論しているが、彼女は高齢者かどうかの判断基準が外見や動作に固定化することに反対しているのであり、高齢者各人の状況に応じた、より注意深い思いやりを求めている。よってこれを簡潔に表した④が正解。

【全文訳】

議長：今日の話し合いは、若者がどのように高齢者と意思の疎通をすべきかについてです。医学博士のマクドナルド先生と、老年学、つまり高齢者研究の専門家であるジョンソン氏とウェスト女史の3名のパネリストをお招きしています。ジョンソンさん、話し合いの口火を切っていただけますか？

ジョンソン氏：承知しました。私は人々が高齢者と特別な方法で意思の疎通をするのに気づくことがよくあります。例えば声を大きくすることで、大げさな話し方をするのです。時には、子供に向かって話しているかのように話しますが、私は高齢者がこれを本当に好んでいるのだらうかと思います。高齢者センターで私が観察したところでは、医師や看護師さえこの特殊な話し方をしています。しかしながら、私はこれが彼らとの好ましい意思疎通の方法なのだらうかと疑問に思うのです。

議長：面白い考察ですね。あなたは、医療の専門家たちも高齢者には違う話し方をするとおっしゃっているのですね。マクドナルド博士はどう思われますか？

マクドナルド博士：はい、医者として、私たちは患者と話すときは思いやりがなくてははいけません。高齢者との意思の疎通の仕方を調整して、私たちが言うことを彼らが理解しているかを確かめるべきなのです。高齢者は耳が遠いことが多いので、ゆっくり、はっきりと彼らに話しかけることが大切です。私たちの質問に答えられるように、高齢者は私たちの言うことを理解する必要があるからです。このように話しかけられれば、彼らは有り難く思うはずですよ。お年を召していると思われる方に会うときには、このように話すことで常に思いやりを示すべきだと私は思います。

議長：結構です。マクドナルド博士は、専門家の経験で、高齢者には特別な注意が払われるべきだと考えておられるのですね。この点についてあなたのお考えはどうですか、ウェストさん。

ウェスト女史：私自身高齢者ですが、マクドナルド博士には賛成しかねます。博士は、その外見から誰がはっきり、ゆっくりと話しかけられる必要があるのか判断できるとおっしゃいました。年寄りかどうかの判断基準を、ゆっくりとした動作や白髪やしわに置いていらっしゃるのだと思います。ですが、それは高齢者に対する固定観念です。会話中なら特別な調整など必要としない老人も中にはいらっしゃるかもしれません。むしろ、そうした調整は彼らには侮辱ともなりえます。私はそのように話しかけられたくありませんし、そのように固定観念の枠に入れられたくもありません。

議長：ご意見ありがとうございます。ウェストさんのコメントは、私たちの高齢者に対する判断が注意深い思いやりを伴わずに下されるべきではないことを強調しているのですね。

C

【解説】

32 正解 ②

- ① 各地域で作る酢は、伝統的な料理には重要でない素材である。
- ② 様々な場所に住む人々が、その地域の作物で酢を作っている。
- ③ 米酢は、長い間人々によって作られ、使われてきた。

④ 「酢」という語は、「すっぱいワイン」を意味する古いフランス語に由来する。

空所の後で酢の原料には世界各地で地域に応じた異なるものが使われている例を挙げているので、空所にはその導入となる内容の文が入ると判断できる。よって②が正解。

33 正解 ④

- ① 本物の酢を作るには、非常に長い時間を要する。
- ② 多くの作物と調理法は、酢と関係がある。
- ③ 酢を作る方法は、伝統的にいくつかあった。
- ④ 酢は、ゆっくりとした製法でも速い製法でも生産することができる。

空所の後で、「前者 (the former)」、「後者 (the latter)」で始まる酢の生産方法2つ（促成とそうでないもの）が紹介されていることから、空所には2つの生産方法の概略を提示する文が入ると判断できる。したがって④が正解。

34 正解 ②

- ① それを使うこともできたであろう（が、実際は使わなかった）
- ② それを日常的に使ってきた
- ③ それをめったに使わない
- ④ それを使うことはないだろう

空所の直前で酢が掃除と医療にも使われてきたことを述べ、直後にはその具体例となる「物の表面を磨き、虫に噛まれた痛みを癒す」ことが続くから、②が正解となる。

【全文訳】

酢はとても馴染み深い家庭用食品で、世界中の料理において非常に重要な役割を長く果たしてきた。しかし、正確なところ、酢とは何であり、その用途は料理以外に何があるだろうか？

様々な場所に住む人々が、その地域の作物で酢を作っている。日本では、酢を作るのに米が使われる。酢は伝統的な日本料理のいくつかを作るのに必要な材料なのだ。韓国では、また別の特産物である柿を、合衆国ではリンゴを、フィリピンではサトウキビを用いる。世界中に様々な種類の酢があることは明らかである。

その製法について言えば、酢は空気のある種のアアルコールと反応させて作られる。つまり、その製法は常にブドウや米やホップのような原料をアルコール発酵させることから始まるということだ。酢は、ゆっくりとした製法でも速い製法でも生産することができる。前者は、それを自然に熟成させるのだが、数週間から数カ月、あるいは極端な場合には高価なイタリアのバルサミコ酢のように 100 年もの時間がかかることもある。後者の製法は、わずか 20 時間になることもある。これは、空気とバクテリアをベースとなる液体に加えることで可能となる。

酢の用途は、その原材料と同じくらい幅広い。冷蔵庫が一般化する前は、食べ物を漬け物の状態で保存するのに酢は極めて重要だった。酢はまた、掃除と医療用にも長い間重要であった。物の表面を磨き、虫に噛まれた痛みを癒すのに酢を日常的に使ってきた。明らかに酢は古代文明の重要な発見であり、今日でも有益なものであり続けている。

第4問

A

【解説】

問1 35 正解 ③

「本文によれば、日本を訪れる外国人観光客に当てはまると思われるのはどれか」 「彼らは…」

- ① 魚を食べるよりそれが売られている所を見学することに関心がある
- ② 伝統的な日本の文化にはもはや関心がない
- ③ 以前より幅広い選択肢から選んで名所を訪れている
- ④ 以前にやって来た観光客よりも裕福である

本文は全体を通して、外国人観光客の日本に対する興味の対象が以前より多様化していることを述べている。よって③が正解。

問2 36 正解 ④

「グラフにおいて、『アニメキャラクター』を表す文字はどれか」

- ① A ② B ③ C ④ D

第2段落の第1文から、Aは「伝統建築」、第2文からCは「現代建築」、第3文からBは「温泉地」を表すとわかる。よって消去法で、④が正解となる。

問3 37 正解 ④

「次の理由のうち、筆者が本文に記された変化を説明するために挙げているのはどれか」

- ① ガイドブックが長い間利用できたので、ほとんどの観光客はツアーガイドを必要としない。
- ② 日本は今では、昔よりも金持ちの海外旅行者を引き寄せている。
- ③ JNTO が伝統的な日本文化についての情報を海外に広めることに成功した。
- ④ 多くの観光客は今ではインターネットの資料を利用して、あらかじめ興味深い場所を選ぶ者が多い。

第3段落の第1文に、「観光客の人気スポットがますます多様化する理由の1つは、長年定着しているガイドブックという形態だけでなく、ウェブサイト、とりわけ特殊な関心事に応じるサイトを通して、情報がますます得やすくなっていることであるらしい」とある。したがって、④が正解となる。

【全文訳】

富士山と京都は、海外から日本に来る観光客には伝統的に人気の高い観光地であった。しかし、やって来る観光客の数が増えるにつれて、彼らが日本に来る理由は、彼らが新たな関心を抱くようになって、多様化しているように思える。最近の日本政府観光局（JNTO）による調査では、下のグラフに見られるように、温泉、魚市場、アニメキャラクターが日本を訪れる上位10個の理由の中に挙がっている。（グラフは省略）

第1位は、回答者の71%が挙げた日本料理で、伝統建築と庭園が2位と3位に続いている。現代建築も（質問を受けた観光客の28%によって）挙げられている。温泉地と旅館は、長い間日本人に愛好されてきたが、今では外国人観光客の注目も集め、この2つはともに最も人気の高い種類の呼び物上位5つの中に入っている。相撲や他の伝統的スポーツもまたリストに載り、目立つ存在である。東京の築地魚市場は、何年もの間日本を訪れる人々の関心の的であったが、今ではアニメキャラクターの関連商品を売っている秋葉原のような場所が加わっている。

観光客の人気スポットがますます多様化する理由の1つは、長年定着しているガイドブックという形態だけでなく、ウェブサイト、とりわけ特殊な関心事に応じるサイトを通して、情報がますます得やすくなっていることであるらしい。ツアーガイドの人々の報告では、今では多くの観光客がどこに行き何を見たいのかという明確な考えを持って日本にやって来ている、とのことである。

B

【解説】

問1 38 正解 ①

「父親、母親と2人の子供のシマー家は、東京から出発してシカゴまで旅行する。9月25日に出発して9月30日に戻る計画で、2歳のプードル犬を同伴したいと思っている。彼らが見える便はどれか」

- ① 203 便と 206 便
- ② 205 便と 206 便
- ③ 205 便と 208 便
- ④ 207 便と 208 便

シマー家は4名なので、9月25日に東京を出発する便の中では空席状況により205便は除外され、2歳の犬を連れていっているのでペット同伴が許されない207便（ビジネスクラス）も除外される。よって203便（エコノミークラス）だけが利用できる。同様に、9月30日に東京に到着する中では、206便だけが条件と合致する。したがって、①が正解。

問2 39 正解 ②

「ビジネスマンのウノ氏は、9月末にエコノミークラスで東京からシカゴまで旅行したいと思っている。9月25日の正午前に東京を離れることはできない。また飛行中には彼のコンピュータに電源の供給が必要になるかもしれない。彼が見べき便はどれか」

- ① 203 便
- ② 205 便
- ③ 206 便
- ④ 207 便

ウノ氏は、9月25日の東京出発便でエコノミークラス希望であるため、エコノミークラスに空席がない③とシカゴ発の④は除外される。正午前出発が不可能であるため①も除外される。よって、205便（エコノミークラス）だけが利用可能で、②が正解。

問3 40 正解 ①

「この航空会社の規定によれば、次の動物のうち搭乗が許されるのはどれか」

- ① 3歳の猫
- ② 先月末に生まれた犬
- ③ 1歳を迎えたばかりのハムスター
- ④ 飛行3週間前に生まれたウサギ

「ペットに関する規定」の2から、③と④は除外される。次に3から、②も除外される。よって、①が正解。

【全文訳】

フライト・スケジュール							
便	発着地		発着日	発着時間	空席		備考
					ビジネス クラス	エコノミー クラス	
203	発	東京	9月25日	10:40	×	9	p, e
	着	シカゴ	9月25日	08:15			
205	発	東京	9月25日	16:35	×	2	p, e
	着	シカゴ	9月25日	14:04			
207	発	東京	9月25日	18:55	4	×	e
	着	シカゴ	9月25日	16:31			
204	発	シカゴ	9月29日	10:20	1	×	
	着	東京	9月30日	13:15			
206	発	シカゴ	9月29日	12:16	○	○	p, e
	着	東京	9月30日	15:10			
208	発	シカゴ	9月29日	14:50	3	5	e
	着	東京	9月30日	17:45			
<p>凡例：</p> <p>○：10席以上空席あり 1-9：空席数 ×：空席なし</p> <p>p：ペットの同乗可（下記の規定を参照のこと）</p> <p>e：各席ラップトップコンピュータなどの電源コンセント利用可</p> <hr/> <p>ペットに関する規定：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ペット同伴の乗客は事前に航空会社に通告すること。 2. 小鳥数羽，飼いなされた猫と犬のみ同乗可。 3. 犬と猫は，同乗に際して生後8ヵ月以上であること。 							

第5問

【解説】

問1 41 正解 ④

「次のイラストの中で，上記の証言に最もよく合うものはどれか」（イラストは省略）

目撃者Aの証言の第8文「信号は赤でしたが，スポーツカーは，スピードを落とすどころか，逆にスピード

を上げて前進しました」と第 11 文「衝突しそうに見えましたが、両方ともぎりぎりのところで方向転換して互いから遠ざかり、衝突を回避しました」から、赤信号で交差点に進入しバンとあやうく衝突しかけたのはスポーツカーだったことがわかる。目撃者Bの証言の第4文「突然、私の背後からバンが近づいてきました」から、バンはBの背後から交差点へ進入したことがわかる。これらの証言に合うのは④。

問2 正解 ②

「目撃者の1人が言ったことに基づくと、 と推定できる」

- ① 早朝で車はほとんど走っていないかった
- ② 夕方で道が濡れていた
- ③ 午後遅くで300号線は車であふれていた
- ④ 夜遅くで滑りやすかった

目撃者Aの証言の第5文に「暗くなりかけていましたが、激しい雨がちょうどやんだところで、あたりには他の車はありませんでした」とあるので、②が正解。

問3 正解 ③

「目撃者Aは についてあまり確信がない」

- ① 雨が激しく降っていたかどうか
- ② 信号が赤だったかどうか
- ③ トラックがスポーツカーを避けようとしたのかどうか
- ④ バンがどの方向から来たのか

目撃者Aの証言の第7文に「私が思うに、トラックはスポーツカーから離れようとして少し移動したのかもしませんが、確信はありません——スポーツカーから視線を逸らすことができなかったのです」とあるので、③が正解。

問4 正解 ②

「おそらく目撃者Aは、事故になりかけたのは が原因だと考えている」

- ① 交差点に新しくできた交通信号
- ② スポーツカーが交通信号を無視したこと
- ③ トラックがスポーツカーを避けるために移動したこと
- ④ バンがその区域の制限速度を超えて走ったこと

目撃者Aの証言の第8～9文に「信号は赤でしたが、スポーツカーは、スピードを落とすどころか、逆にスピードを上げて前進しました。ドライバーは信号が赤にもかかわらず交差点を走り抜けるつもりだったのです!」とあるので、②が正解。

問5 正解 ④

「おそらく目撃者Bは、事故になりかけたのは が原因だと考えている」

- ① スポーツカーがスピードを落とさず交差点を通過したこと
- ② 最近設置された交通信号
- ③ トラックがスポーツカーから離れようと方向転換したこと
- ④ バンの運転手が危険な運転をしたこと

目撃者Bの証言の第7～8文に「とにかく、バンが信号に接近していた時、信号が青から黄色に変わりました。しかしドライバーはスピードを落とすべきだった時に加速したのです——彼は交差点に進入して、そこでスポーツカーとほとんど衝突しかけたのです」とあるので、④が正解。

【全文訳】

目撃者A：私は4車線の300号線沿いにあるガソリンスタンドの向かい側にあるバス停に立っていました。そこはいつも危険な区域でしたが、最近交通信号が設置されたので今は以前より安全です。道路上では2台の車が信号に接近していました。1台は農業用軽トラックで、もう1台は真新しいスポーツカーでした。暗くなりかけていましたが、激しい雨がちょうどやんだところで、あたりには他の車はありませんでした。とにかく、スポーツカーが急に横に方向を変え始めた時、トラックとスポーツカーは並んで走っていました。私が思うに、トラックはスポーツカーから離れようとして少し移動したのかもしれませんが、確信はありません——スポーツカーから視線を逸らすことができなかつたのです。信号は赤でしたが、スポーツカーは、スピードを落とすどころか、逆にスピードを上げて前進しました。ドライバーは信号が赤にもかかわらず交差点を走り抜けるつもりだったのです！そしてその時突然向こうからバンが交差点に進入してきました。衝突しそうに見えましたが、両方ともぎりぎりのところで方向転換して互いから遠ざかり、衝突を回避しました。しかしその時バンの後部ドアが開いて、サッカーボールがたくさん転がり出たのです。

目撃者B：私は脇道を300号線に向かって歩いており——交差点にさしかかろうとしていました。ガソリンスタンドの近くに信号が設置されたのに気づきました。これは交差点が以前より安全になるのに役立つはずです。突然、私の背後からバンが近づいてきました。それは変でした——バンの中が見えましたが、サッカーボールで一杯だったのです！そのようなものはそれまで見たことがありませんでした。とにかく、バンが信号に接近していた時、信号が青から黄色に変わりました。しかしドライバーはスピードを落とすべきだった時に加速したのです——彼は交差点に進入して、そこでスポーツカーとほとんど衝突しかけたのです。とても幸運でした——男は右に方向転換し、スポーツカーをよけることができたのです。スポーツカーも方向転換したと思います。幸運にも事故にはなりませんでしたが、あたり一面サッカーボールが散乱していました。

第6問

【解説】

問1 正解 ③

「歴史家アリエスが主張するところによれば、中世には 」

- ① 子供たちは親を手伝うことを楽しんだ
- ② 親は忙しすぎて子供のことを考えることができなかつた
- ③ 人々は年齢について漠然とした考えしか持っていなかつた
- ④ 若者は仕事を見つけるのに苦労した

段落②の第2文に「アリエスは、中世のヨーロッパ人の多くが自分がいつ生まれたのか、すなわち自分が実際に何歳なのかを知らなかつた」とあるので、③が正解。

問2 正解 ②

「段落(3)は ということを示唆している」

- ① 教育を改善することが政府にとって以前ほど重要ではなくなった
- ② 貿易の拡大がさらなる教育を必要とするという結果を生んだ
- ③ 教育の普及が経済活動の縮小につながった
- ④ 若者は教育を受けるよりも仕事をしたいと思う

段落(3)の第2～3文に「重要な要因の一つが、ルネサンス期のイタリアで生じたような、貿易の発展と商業都市の興隆だった。貿易に必要な技能を若者に与えることの重要性がベニスやフィレンツェのような都市によって認識され、それらの都市は読み書きや計算を教える学校を設立した」とあるので、②が正解。

問3 正解 ③

「段落(4)で、筆者はルソーの考えが結果的に 法律へとつながったということをほのめかしている」

- ① 若者が家庭で勉強することを許す
- ② 行政府に子供の医療ケアを提供させる
- ③ 子供の雇用を非合法化する
- ④ すべての学生に学校に通学することを要求する

段落(4)の最終文に「19 世紀半ばまでに、産業社会は児童就労を終わらせる法律を可決し始めた」とあるので、③が正解。

問4 正解 ①

「段落(5)が論じるどころでは、若者文化は ために出現した」

- ① 学生が互いに交流する時間が以前よりも増えた
- ② 学生が学校に通うことへの興味を失った
- ③ 大学教育があまりにも急速に拡大していた
- ④ 若者が大人よりも知性的になった

段落(5)の最終文に「しかし、若者が同年代の人間と過ごす時間が増えるにつれ、若者は成人社会とは独立した文化——音楽、ファッション、そして言語さえも——を発展させたのである」とあるので、①が正解。

問5 正解 ①

「本文の終わりの方で、筆者は と述べている」

- ① 大人は、若者と同様に、現在では自分たちの将来について柔軟になることが必要になっている
- ② 多くの形の娯楽が中年にねらいをつけている
- ③ 人々はカジュアルな服を着ることにより見た目を若く保つべきだ
- ④ 若者は大人に訴えかける新しい考えや意見を育てている

段落(7)の最終文に「進んで新しい道を探求するというような、青年期と関連づけられる姿勢は、大人の間でますます普通のことになってきている」とあるので、①が正解。

問6 正解 ②

「段落(1)～(7)を4つのグループに分けるとすれば、次のどのグループ分けが最も適当か」

	グループ 1	グループ 2	グループ 3	グループ 4
①	(1)	(2) (3)	(4) (5)	(6) (7)
②	(1)	(2)	(3) (4) (5)	(6) (7)
③	(1) (2)	(3) (4)	(5) (6)	(7)
④	(1) (2)	(3) (4) (5)	(6)	(7)

(1)は「幼年期と青年期についての考え方の根本的な変化」というテーマを導入する段落。(2)は中世において幼年期と成人期の区別がなかったことを述べる段落である。(3)の第2文の One important factor, (4)の第1文の another important change, (5)の冒頭の A final factor に注意。(3), (4), (5)は幼年期あるいは青年期という概念が発展した要因を述べている段落である。(7)の in another way に注意。(6)と(7)は現代の大人と若者の関係について論じている段落である。したがって、②が正解ということになる。

【全文訳】

- (1) 今日、我々は、人格の本質的な面は幼年期と青年期に形成される、と考えている。我々は、若者は成人とは別の欲求を持ち、別の世界を経験する、と理解している。成人自身が、現代の青年期に対する重視に影響されているということさえ承知している。しかし、歴史的に見れば、必ずしも事態はこうではなかった。現代の産業社会の発展が、幼年期や青年期についての考え方に根本的な変化をもたらしたのである。
- (2) 歴史家のフィリップ・アリエスが指摘しているように、幼年期と青年期に対する現代の姿勢は、過去の若者に対する見方とは対照的である。アリエスは、中世のヨーロッパ人の多くが自分はいつ生まれたか、すなわち自分が実際に何歳であるかを知らなかったと述べている。ある年齢になれば（たとえば 20 歳の誕生日に）「大人」になる、という考えは存在しなかった。したがって、幼年期と成人期の区別は明確でなく、子供はしばしば成人と同じように扱われた。中世フランスでは、学校に通う子供はほとんどおらず、6歳の子供が年長者たちと一緒に畑仕事をした。アリエスは、幼年期という概念自体中世には存在しなかったとさえ述べている。
- (3) 幼年期や青年期という現代の認識はどのように発展したのだろうか。重要な要因の一つが、ルネサンス期のイタリアで生じたような、貿易の発展と商業都市の興隆だった。貿易に必要な技能を若者に与えることの重要性がベニスやフィレンツェのような都市によって認識され、それらの都市は読み書きや計算を教える学校を設立した。17 世紀にヨーロッパの国民国家が出現すると、官僚——収税吏、記録係、行政官——に対する需要が増大した。たとえば、ルイ 14 世治世下のフランスでは、ますます多くの若者が、この需要を満たすために創設された多くの学校で学んだ。さらなる教育を求める傾向は、18 世紀に入っても続いた。18 世紀後半までに、ほとんどの子供が学校に通うようになり、大人と離れて時間を過ごすことが多くなった。
- (4) 教育を受ける学生数の増加は、また別の重大な考え方の変化を引き起こした。ジャン・ジャック・ルソーのような 18 世紀の思想家は、子供は個人の能力に応じて発育するのが許されるべきであり、過度にしつけられるべきではない、と信じていた。ヨハン・ハインリッヒ・ペスタロッチのようなルソーの追随者は、子供が健全な大人に成長するには、遊びが必要であることを強調した。このように子供が必要としているものを強調することが、今度は更なる変化へとつながった。19 世紀半ばまでに、産業社会は児童就労を終わらせる法律を可決し始めた。
- (5) 最後の要因は、「若者文化」の誕生である。20 世紀の新しい科学技術の発達は、より優れた技能に対する

需要と中等・高等教育の急速な成長を意味した。1930年には、アメリカの10代の若者の大半が高校へ入学するようになった。1960年には、アメリカの高卒者の40%以上が大学に進学するようになった。幼年期と成人期の間の期間が長くなるにつれ、心理学者は「青年期」、つまり個人が世間に最も開かれており、自らの将来について重大な決断をする時期の重要性を強調した。しかし、若者が同年代の人間と過ごす時間が増えるにつれ、若者は成人社会とは独立した文化——音楽、ファッション、そして言語さえも——を発展させたのである。

- (6) 幼年期と青年期に対する今日の考え方が大人にも影響を与えたのは疑いのないところである。映画やテレビや音楽は次第に若者にねらいを定めるようになり、社会全般に影響を与えるようになった。多くの大人が若者をまねている。彼らは若者と関連づけられる服——ジーンズやTシャツ——を着て、若々しい外見を保とうとしている。
- (7) 大人はまた別の点でも若者のようになってきている。技術的な変化は新しい製品と仕事を生み出す。その一方で、この過程はまた、成人が身につけた技術は時代遅れになってしまうかもしれないということの意味する。大人が若者と同じ立場に身をおくこともありえる。つまり、自らの将来について進んで決断を下したり、新しい技術を身につけたり、新しい仕事を始めたりしなければならないのである。進んで新しい道を探求するというような、青年期と関連づけられる姿勢は、大人の間でますます普通のことになってきている。